



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月6日

上場会社名 ニチコン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6996 URL <https://www.nichicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長

(氏名) 横場 幹人

TEL 075-231-8461

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	41,150	8.4	151	93.4	1,443	58.8	1,728	49.3
2024年3月期第1四半期	44,910	9.5	2,284	9.7	3,504	13.3	3,409	5.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 5,095百万円 (36.9%) 2024年3月期第1四半期 8,079百万円 (54.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	25.27	22.80
2024年3月期第1四半期	49.84	45.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	209,557	117,652	54.7	1,675.86
2024年3月期	206,937	113,839	53.6	1,620.98

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 114,654百万円 2024年3月期 110,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		16.00		17.00	33.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		17.00		17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	1.8	10,000	12.3	11,000	3.6	8,300	0.6	121.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信 添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	78,000,000 株	2024年3月期	78,000,000 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	9,585,031 株	2024年3月期	9,584,631 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	68,415,164 株	2024年3月期1Q	68,416,160 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)におけるわが国経済は、円安に伴うエネルギーコストの高止まりや物価の上昇が続きましたが、企業の設備投資、個人消費やインバウンド需要の増加により、景気は緩やかに回復しました。米国経済は、金融引き締めの影響を受けながらも、良好な企業業績と雇用情勢により個人消費が堅調に推移しました。欧州経済はインフレ圧力が緩和したものの、景気の回復基調には至っておりません。中国経済は、個人消費と不動産市況の不況が長引き、景気の低迷が続きました。

このような状況において当社は、中期成長目標「Vision 2025」に基づき、売上高と営業利益率の目標達成を通して持続可能な成長の実現を目指しています。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は41,150百万円と前年同期比8.4%の減収となりました。また利益につきましては、営業利益は151百万円と前年同期比93.4%の減益、経常利益は1,443百万円と前年同期比58.8%の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,728百万円と前年同期比49.3%の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(コンデンサ事業)

コンデンサ事業における売上高は24,789百万円(前年同期比9.9%減)、セグメント営業利益は80百万円(前年同期比94.8%減)と減収減益となりました。

自動車・車載関連機器向けは、EVの成長期待が幾分鈍化しており、各社とも生産調整の反面でハイブリッド車への回帰の傾向が見られますが、自動車の電動化の動きは着実に進展しています。車載関連機器向けアルミ電解コンデンサでは、一部の顧客で在庫調整の局面が見られるものの、導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサの需要は拡大しており、また、面実装型アルミ電解コンデンサも電装化に伴う使用員数の増加に伴い今後も拡大が見込まれます。情報通信機器向けでは、生成AIサーバーなどデータセンター用途の導電性高分子アルミ固体電解コンデンサが引き続き好調に推移しており、さらに拡大が見込まれます。一方、白物家電・産業用インバータ機器向けは、産機インバータやパワーコンディショナー用途の大形アルミ電解コンデンサが、顧客の生産は回復してきているものの依然として在庫指数が高い状況が継続しており、低調に推移しました。当社は引き続き、需要拡大が見込まれる導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサおよび導電性高分子アルミ固体電解コンデンサの製品ラインアップ強化、xEV用フィルムコンデンサの生産能力拡大と技術開発体制の強化により、各重点市場における受注拡大に取り組んでまいります。

(NECST事業)

NECST事業における売上高は16,361百万円(前年同期比6.0%減)、セグメント営業利益は70百万円(前年同期比90.3%減)と減収減益となりました。

家庭用蓄電システムは、市場在庫過多などの影響を受けましたが、東京都の太陽光パネル設置義務化条例をはじめとする各自治体による再エネ設備の設置義務化や、エネルギーコストの高騰による電力の自家消費意識の高まりに加え、当社新製品の投入などにより回復が見込まれています。V2Hについては本年度の政府補助金が例年より遅く開始した影響を受けましたが、新製品の導入効果により下期以降回復する見込です。また、日本政府のEV充電インフラ網を整備する方針に基づき日常的なEV走行の環境が拡充されており、当社の急速充電器に対する期待が高まっています。学術用・医療用等の大型特殊電源は年度初めから立ち上げが進み、堅調に推移しました。当社は、地球環境改善につながる再エネ利用を拡大させるために必要な家庭用/公共・産業用蓄電システム、急速充電器ならびにV2H等の機器やサービスの価値提供を通じて、社会課題の解決に貢献してまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末(2024年3月末)に比べ2,619百万円増加し209,557百万円となりました。主な増減の内容は、受取手形、売掛金及び契約資産が前期末に比べ3,227百万円減少し36,931百万円となった一方で、現金及び預金が前期末に比べ1,982百万円増加し31,370百万円、有価証券・投資有価証券が前期末に比べ2,284百万円増加し33,768百万円となったことに加え、有形固定資産が前期末に比べ1,518百万円増加し53,501百万円となったことなどによるものです。

負債合計は、前期末に比べ1,193百万円減少し91,904百万円となりました。主な増減の内容は、電子記録債務が前期末に比べ862百万円減少し14,386百万円となったこと、および一年内返済を含む長期借入金が625百万円の返済により8,125百万円となったことなどによるものです。

純資産は、前期末に比べ3,813百万円増加し117,652百万円となりました。主な増加の内容は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金の支払いにより565百万円増加し67,568百万円、その他有価証券評価差額金が906百万円増加し15,400百万円となったことに加え、為替換算調整勘定が2,282百万円増加し12,167百万円となったことなどによるものです。この結果、自己資本比率は54.7%となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ3,433百万円収入が増加し6,985百万円の収入となりました。これは主に、仕入債務の減少額が1,736百万円となった一方で、税金等調整前四半期純利益を1,934百万円、減価償却費を2,002百万円計上したことに加え、売上債権の減少額が5,091百万円となったことなどによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ125百万円支出が増加し4,057百万円の支出となりました。これは主に、有価証券・投資有価証券の売却・償還による収入が454百万円となりましたが、有形固定資産の取得による支出が3,612百万円、有価証券・投資有価証券の取得による支出が809百万円となったことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ720百万円支出が増加し1,912百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払額が1,163百万円、長期借入金の返済による支出が625百万円となったことなどによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ1,982百万円増加し31,370百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年5月9日（2024年3月期決算発表時）に公表しました内容に変更はありません。

なお、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,387	31,370
受取手形、売掛金及び契約資産	40,159	36,931
電子記録債権	7,615	6,785
有価証券	100	522
商品及び製品	15,868	16,411
仕掛品	6,193	5,460
原材料及び貯蔵品	14,597	15,425
その他	4,633	5,017
貸倒引当金	△86	△86
流動資産合計	118,468	117,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,978	18,303
機械装置及び運搬具（純額）	20,747	21,286
その他（純額）	14,256	13,911
有形固定資産合計	51,983	53,501
無形固定資産		
投資その他の資産	1,722	1,731
投資有価証券	31,384	33,246
その他	4,580	4,523
貸倒引当金	△1,208	△1,289
投資その他の資産合計	34,756	36,480
固定資産合計	88,462	91,714
繰延資産		
社債発行費	6	3
繰延資産合計	6	3
資産合計	206,937	209,557

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,803	15,110
電子記録債務	15,248	14,386
短期借入金	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	2,500	2,500
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	12,016	12,010
未払法人税等	1,164	900
賞与引当金	1,561	655
その他	13,930	14,599
流動負債合計	75,224	74,161
固定負債		
長期借入金	6,250	5,625
その他の引当金	3,061	3,182
退職給付に係る負債	1,415	1,385
その他	7,146	7,549
固定負債合計	17,874	17,742
負債合計	93,098	91,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,286	14,286
資本剰余金	16,860	16,860
利益剰余金	67,002	67,568
自己株式	△11,628	△11,629
株主資本合計	86,521	87,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,494	15,400
為替換算調整勘定	9,884	12,167
その他の包括利益累計額合計	24,378	27,567
非支配株主持分	2,939	2,998
純資産合計	113,839	117,652
負債純資産合計	206,937	209,557

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	44,910	41,150
売上原価	37,276	35,460
売上総利益	7,633	5,689
販売費及び一般管理費	5,349	5,538
営業利益	2,284	151
営業外収益		
受取利息	48	83
受取配当金	304	348
持分法による投資利益	156	143
為替差益	739	770
その他	60	74
営業外収益合計	1,310	1,420
営業外費用		
支払利息	27	29
その他	62	99
営業外費用合計	89	129
経常利益	3,504	1,443
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	528
特別利益合計	0	528
特別損失		
固定資産処分損	23	36
特別損失合計	23	36
税金等調整前四半期純利益	3,481	1,934
法人税、住民税及び事業税	418	315
法人税等調整額	△402	△185
法人税等合計	16	130
四半期純利益	3,464	1,804
非支配株主に帰属する四半期純利益	54	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,409	1,728

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,464	1,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,388	926
為替換算調整勘定	2,158	2,268
持分法適用会社に対する持分相当額	67	96
その他の包括利益合計	4,614	3,291
四半期包括利益	8,079	5,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,953	4,917
非支配株主に係る四半期包括利益	126	178

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,481	1,934
減価償却費	1,571	2,002
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△528
売上債権の増減額 (△は増加)	2,202	5,091
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△742	120
仕入債務の増減額 (△は減少)	△69	△1,736
その他	233	314
小計	6,677	7,199
法人税等の支払額	△654	△616
和解金の支払額	△2,796	—
その他	325	402
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,551	6,985
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△409	△309
有価証券の売却及び償還による収入	509	—
有形固定資産の取得による支出	△3,917	△3,612
投資有価証券の取得による支出	—	△499
投資有価証券の売却による収入	—	454
その他	△113	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,931	△4,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△625
配当金の支払額	△1,094	△1,163
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△96	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,191	△1,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	860	966
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△710	1,982
現金及び現金同等物の期首残高	25,068	29,387
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,358	31,370

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっています。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	コンデンサ事業	NECST事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,504	17,406	44,910	—	44,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	132	—	132	△132	—
計	27,637	17,406	45,043	△132	44,910
セグメント利益	1,556	729	2,285	△0	2,284

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の取引消去等です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	コンデンサ事業	NECST事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,789	16,361	41,150	—	41,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	148	67	216	△216	—
計	24,937	16,428	41,366	△216	41,150
セグメント利益	80	70	151	0	151

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の取引消去等です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。